



発信元：鹿児島大学若手教員サイエンスカフェ有志の会

(鹿児島大学医学部、理学部、農学部、工学部、法文学部、総合教育機構など様々な部局の若手教員による有志の会)

プレスリリース

2018年1月29日発信

報道各社各位

## **鹿児島大学若手教員によるサイエンスカフェ**

—若手教員の研究成果を社会に持ち帰って市民と共に学ぶ—

本学の若手教員有志の会による**サイエンスカフェかごしま in 甕島『光の化学』**を添付チラシの通り2月3日(土)に開催致します。カフェでコーヒーを片手に最新の研究について、気軽に語り合おうというイベントです。

「鹿児島大学若手教員サイエンスカフェ有志の会」では、1～2か月に1度、鹿児島市内においてサイエンスカフェを実施してきました。老若男女を問わず多くの市民の方々にご参加いただいております。

昨年の11月、初めて市内から飛び出し、薩摩川内市の甕島において、サイエンスカフェを開催しました。今回はその2回目という位置付けです。前回同様、今回も島の子どもたち(小学校高学年の児童及び中学生)を主な対象としつつ、地域の様々な方々の知的好奇心を刺激するようなイベントにしたいと考えております。

ご取材のほど、何卒よろしくお願い致します。

### ※「サイエンスカフェかごしま」について

サイエンスカフェは、20世紀の終わり頃にヨーロッパで始まりました。日本でも行われるようになって久しいですが、我が国でのサイエンスカフェは、大学や研究所が公的に主催するやや硬いイメージのものが多く思われます。場所も公共の施設で、参加人数も多く、話題提供者も比較的年配の研究者であり、講演会やセミナーとの差が不明瞭なものも散見されます。

我々の実施している「サイエンスカフェかごしま」は、若手教員有志が学部や研究分野を跨いで集まって行うものです。学問カフェの元祖、マルク・ソーテが始めた『哲学カフェ』の原点に戻り、町中のカフェを舞台に少人数で行い、双方向の会話を重視していることが大きな特色です。

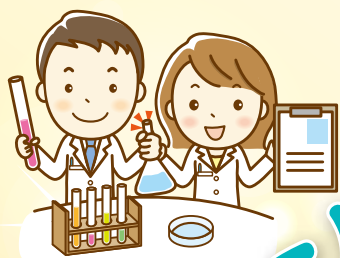
詳しくは、**facebook** ページサイエンスカフェかごしまをご覧ください。

→URL: <https://ja-jp.facebook.com/science.cafe.kagoshima/>

<本件に関するお問い合わせ>

出口英樹(鹿児島大学 総合教育機構 高等教育研究開発センター)

TEL: 099-285-3705(教育企画係)、k4858980@kadai.jp



医師



# サイエンスカフェかごしま 「光」の化学

話し手 **新留 康郎**  
(鹿児島大学 理学部)



**とき** 2018年**2月3日(土)**  
午後2時30分～4時30分  
※当日、甌島フェリーが欠航の場合は、サイエンスカフェも中止となります。ご了承ください。

**定員** 約20名「申込不要」

**ところ** 甌に東風 現在地  
鹿児島県薩摩川内市里町里1618  
(里のフェリー乗り場すぐ)



**参加費** 大人 1,000円  
中学生以下 500円  
(サイエンスカフェ特別メニュー(ドリンク2品+スイーツ)代込み)

**サイエンスカフェとは？**  
サイエンスカフェとは、大学教員などの学術研究者が、カフェというリラックスした雰囲気の中で、コーヒーなどを飲みながら研究成果を紹介し、科学について広く市民の方々と語り合うイベントです。

「サイエンスカフェかごしま」  
SNSでもチェック!!

**お問い合わせ**  
✉ k4858980@kadai.jp  
(担当: 出口)



主催：鹿児島大学若手教員サイエンスカフェ有志の会